

『潮来市の障がい福祉の現状』

総人口、世帯数とも減少していく	障害福祉サービス（就労継続A型、児童発達支援、放課後等デイサービス、グループホーム）が増えた
身体障がいは横ばい 知的障がいは微増 精神障がい（精神通院）、 難病患者は増加	障害福祉サービス事業の 選択肢が地域に増えた

『区長、民生委員懇談会』

地域において障がい者への理解をもっと深めて欲しいとの意見があった（気づき）	障がいへの理解不足が地域にあった（気づき）
お互いに関わりをもつことでさらに理解が深まる（気づき）	地域には支援が必要でも隠れてしまっている人がいる（気づき）

『団体、事業所等ヒアリング』

障害福祉サービスの利用が少ない、もっといはず（気づき）	地域の障がいに対する理解が不足（気づき）
グレーゾーンの人への支援、対応の不十分さ（気づき）	障害福祉サービスへの理解不足（気づき）
福祉人材が不足している（つなぐ）	計画相談支援員が少ない（つなぐ）
新しいサービスが提供できない（つなぐ）	障害福祉サービス事業者間の連携が必要（つなぐ）
災害時の対応、福祉避難所の充実（支える）	余暇活動、地域の居場所が不足（支える）

『国の基本指針』

地域生活支援拠点等の事業の強化	強度行動障害、高次脳機能障害の把握、支援体制
『新規』就労選択支援、精神障害者の自立訓練	文化・芸術、健康づくり、スポーツ等への参加
情報の取得利用、意思疎通支援	家族への支援も含めて対応（複合的課題への対応）

『障がい者計画等の進捗状況や評価』

106事業のうち85事業（8割）が順調

【主な成果】
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 相談支援体制が充実した（つなぐ）</li> <li>➢ 地域生活の支援が充実してきた（つなぐ）</li> <li>➢ 事業者間の連携が進んだ（つなぐ）</li> </ul>
【主な課題】
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 障害への理解の促進（気づき）</li> <li>➢ 相談体制のより一層の充実（つなぐ）</li> <li>➢ 障がい者の生きがいをづくりの支援（支える）</li> <li>➢ 災害時の対応力の強化（支える）</li> </ul>

『障がい福祉アンケートの結果』

◆差別・偏見、障がいへの理解不足（気づき）
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 差別偏見を感じている障がい者がまだ多い</li> <li>➢ 障がいへの地域の理解はまだ不十分</li> <li>➢ 先生や企業の障がいへの理解不足</li> </ul>
◆将来を見据えた不安がある（気づき）
<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の生活を見据えてニーズがある</li> <li>➢ 身体→「健康のこと」</li> <li>➢ 知的→「親に先立たれること」</li> <li>➢ 精神→「生活費のこと」</li> </ul>
◆相談支援の充実（つなぐ）
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 相談窓口うまくつながっていない、相談場所がわからない人が3割いる</li> <li>➢ 相談にはしっかり対応してほしい</li> </ul>
◆障がいのあるかたの生活の質の向上（支える）
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 文化芸術、スポーツへの参加が低い</li> <li>➢ 外出をもっと増やしたい意向がある</li> <li>➢ 施設改善、移動のためのサポートが必要</li> </ul>
◆障がい福祉サービスの充実（つなぐ）
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「就労支援系」「放課後等デイサービス」増</li> <li>➢ 知的、精神→「就労支援系」が高い</li> <li>➢ 障害福祉サービス利用の満足度は横ばい</li> </ul>
◆障がい福祉施策の満足度・重要度（支える）
<ul style="list-style-type: none"> <li>相談機能の充実。情報がうまく伝わっていない</li> <li>➢ 満足度高い→相談窓口の充実</li> <li>➢ 重要度高い→災害時の支援</li> </ul>

『新しい計画に向けてのキーワード』

地域共生社会の実現 **笑顔**

■ キーワード1 ■

**気づき**

- 障がいや障がい者（児）への理解不足【潮来の弱み】
- 障がい者の制度や仕組みの理解不足【潮来の弱み】

- 地域住民の障がいに対する理解は低い
- 障がい者（児）やその家族も、地域の福祉サービスに対して理解が足りない
- 将来の不安を先延ばしにしている人もいる

◆もっと気づいて欲しいこと… 例えば、こんなことに気づいて

- ・障がいのある人は地域にたくさんいること
- ・だれもが障がい者になりうること
- ・障がいがあっても、できることがたくさんあること
- ・障がいに対する偏見も、関わりを持つことで分かり合えること

- ・福祉サービスが必要な人に行き届いていない
- ・様々な障がいの特性を理解されることで暮らしやすくなる
- ・障がい者との関わりを何となく避けていた自分がある

■ キーワード2 ■

**つなぐ**

- 相談窓口の充実【潮来の強み】
- 福祉サービスの充実【潮来の強み】

- サービスが充実し、自分にあったサービスを選べるようになってきている
- 地域の人との交流、つながりも生まれつつある

◆何と何をつなぐの…

- ・障がい者（児）や家族と地域資源をつなぐこと
- ・サービス事業者がつながってサービスの隙間を埋める

◆将来の暮らしを見据えて…

- ・「地域」と「障がい者（児）」の暮らし
- ・障がいのある人の「制度」や「組織」「機関」とつなぐ
- ・「障がい者（児）」と地域の居場所をつなぐ

■ キーワード3 ■

**支える**

- ・障がい者（児）に対する地域の支えがあることで、だれもが安心して暮らし続けられる
- ・障がい者（児）やその家族は、住み慣れた地域の中で、地域住民と支え合い・助け合って暮らしている

第3次潮来市障害者計画  
《基本理念・施策体系》

第4次潮来市障害者計画  
《基本理念・施策体系》

～ ともに生きる社会 ～

みんな“笑顔”でともに生きる  
潮来

見直しの主な視点

基本目標1 お互いを尊重する社会づくり

- 1 障がいに対する理解の促進
  - ・ 差別の解消・啓発活動の推進、地域福祉活動の推進
- 2 情報提供・コミュニケーションの充実
  - ・ 手話言語、情報提供の推進、制度・サービス内容の周知

拡充

・ 潮来市の弱みを克服。  
・ 様々な「気づき」の中で生きやすい社会が築かれる。  
・ 障がいに対する地域の理解促進  
・ 障がい者（児）の社会参加による理解の促進  
・ 制度やサービスの情報取得、意思疎通支援

基本目標2 自分らしく生きる社会づくり

- 1 相談支援体制の充実
  - ・ 多様な相談に応じる体制の充実、権利擁護、虐待の防止
- 2 生活支援の充実
  - ・ 在宅サービスの充実、日中活動の場の充実、住まいの確保、経済的な支援
- 3 保健・医療体制の充実
  - ・ 保健事業の充実、医療との連携

継続

・ 潮来市の強みをさらに強化  
・ 事業者同士、障がい者と地域が「つながる」、支援が「つながる」  
・ 将来の暮らしを見据えた暮らし（相談支援強化・複雑化・複合化する課題への対応）  
・ 地域生活支援拠点等の事業強化  
・ 障がい児の支援（インクルージョン：包摂・包容）

基本目標3 自分らしさを広げる社会づくり

- 1 就労機会の充実
  - ・ 雇用・就労機会の促進、工賃向上の推進
- 2 保育・療育、教育環境の充実
  - ・ 障がい児童の保育・療育、学校教育の充実
- 3 社会参加の促進
  - ・ 社会参加・交流の拡大、スポーツ・文化活動

継続

・ みんなが「支え合う」「助け合う」ことで安心して暮らせる社会づくり  
・ 文化・芸術、健康づくり、スポーツへの参加促進  
・ 地域での居場所の確保づくり  
・ 福祉に関わる人材（財）の育成・確保  
・ 災害時の避難行動要支援者対策等

拡充

基本目標4 安心・安全に暮らせる社会づくり

- 1 生活環境の整備
  - ・ 福祉のまちづくり、行政サービスにおける配慮
- 2 安心・安全な暮らしの確保
  - ・ 防災対策の充実、交通安全・防犯対策の充実

基本目標1 みんなで知って気づいて分かり合えるまちづくり

- (1)障がい福祉制度や仕組みの理解  
差別の解消、啓発活動、権利擁護
- (2)社会参加の促進  
社会参加・交流機会の拡大
- (3)情報共有の強化  
情報アクセシビリティ、情報提供、制度・サービス内容の周知

社会参加  
権利擁護の充実  
情報共有

みんなが笑顔になる

交流が生まれる

地域の理解が深まる

基本目標2 みんなとつながって拡がるまちづくり

- (1)相談支援体制の強化  
多様な相談に応じる体制、虐待の防止
- (2)生活支援サービスの充実  
在宅福祉サービス、日中活動の場、居住支援、経済的支援
- (3)就労機会の充実  
雇用・就労機会の促進、工賃向上
- (4)保育・療育、教育環境の充実  
障害のある児童の保育・療育、学校教育

相談支援体制の強化  
就労機会の拡充、工賃向上  
障がい児の支援  
きめ細かなニーズの把握

地域で活動する障がい者が増える

基本目標3 みんなが支え合って暮らせるまちづくり

- (1)障がい者の生きがいづくり  
文化芸術・スポーツ活動、居場所づくり
- (2)生活環境の整備  
福祉のまちづくり、行政サービスにおける配慮
- (3)保健・医療体制の充実  
保健事業、医療機関との連携
- (4)安心・安全な暮らしの確保  
防災対策の充実、交通安全等

生きがいづくり  
福祉に関わる人材（財）の育成・確保

